

鯖街道 熊川宿

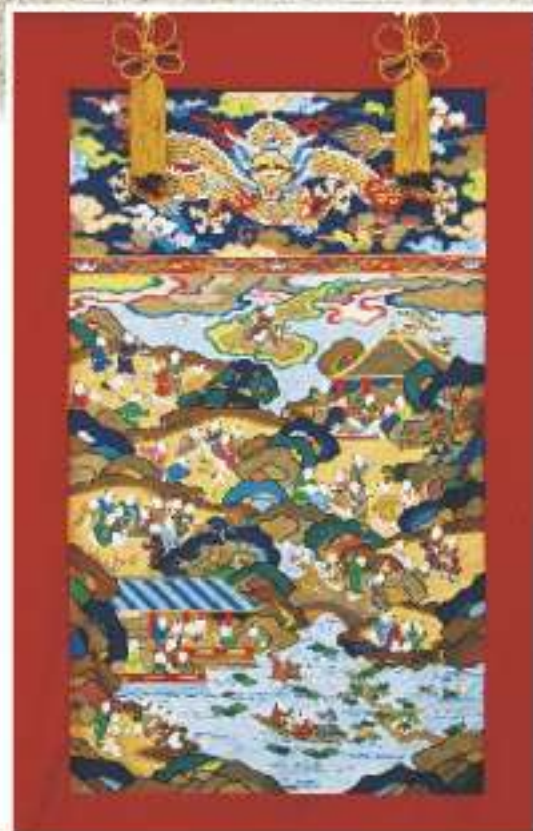
若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県速岐郡上中町熊川

TEL/FAX (0770)62-0330



「熊川の山車」曳き初め(熊川いっぶく時代村にて)



復元された「百子遊戯園」の見送り幕

熊川区民の永年の念願だった「熊川の山車」がこのほど完成し、「熊川いっぶく時代村」で曳き初めとおひろめが行われました。

かつては三基の山車が街道を練り歩いたといわれる「熊川の山車」は、昭和三十八年を最後にその華やかな姿は見られなくなり、部材の一部が白石神社の能楽堂に保存されていました。

一昨春秋、その部材を組み立てて採寸や調査が行われ、山車の復活に向けて準備が進められてきました。併せて傷みが激しかった見送り幕も復元されました。そしてこの度、めでたく山車が完成し、約四十年ぶりにその勇姿が蘇りました。

目次

熊川宿	1
寄稿文・お便り	2・3
熊川いっぶく時代村	4・5
話題・行事	6・7
活動報告	8

走馬灯

上中町教育委員会事務局長 松宮光重

「光陰矢の如し」丁度十年前、教育委員会になって以来、早ひと昔が過ぎました。

当時歴史的町並みに対して、ささやかな郷愁を感じる程度であった私に、興味を持たせてくれる担当者がありました。

非常に熱心で一途な仕事振りに引きづけられながら、熊川宿を勉強させて頂きました。

平成五年春頃から老朽化している旧家の一部修繕に始まり、美しい熊川宿の将来を見据えてのモデルハウスに、との提言により所有者の方に譲渡をお願いしたり、構想を練る毎日であったようでした。幸い所有者の方にご理解頂き、晴れてモデルハウスへのスタートを切ることが出来ました。その改修工事には難題が山積でありまし



たが、紆余曲折の末、見事に復元されたので

す。その後も旧熊川村役場の改修にも関わりを持ちつつ、転属になりましたが、陰ながら、応援させて頂いておりましたことは、ついこの間のことのように感じられます。

重伝保存地区に選定されて以来、今日までの整備には目を見張るものがあります。

良きリーダーとそのブレインの存在もさることながら、この事業に取り組まれるために個人の気持ちを抑え、熊川宿(区)の発展を優先される区民の皆様のユニオンシップには戦慄を覚えたものです。

熊川宿の整備は継続中でありますが、今まで培われた合意形成を確固たるものにされ、最終的には区民一人一人が「熊川に住んでいて良かった」と言わしめ、来客が「何回でも来たい」と言わせるような、今以上に名実ともに全国に誇れる、また若者の定住で活気溢れる熊川宿であり続けられることを期待し、何かのお役に立てればと思っています。

「転属し、心は熊川を駆け巡る。」

熊川宿に想う

宮本治美

秋晴れに恵まれて、いっぶく時代村が開かれました。家から一歩出ると別世界で、人並みにまみれて歩くと、どこかへ旅行に行った気持ちでした。

夕方には越中おわら節に聴き

ほれ、熊川音頭に酔いしれて、本当にゆつたりとした時の流れに、つい江戸時代にいる錯覚に浸ることができました。

写真を撮っている時に、ふと「この町並みに合った人並みを作れば？」と思いました。それは、「いっぶく時代村に入る時



は江戸時代の身なりで歩くこと」と書いた立札を立てた関所を設け、通行手形を発行します。

地元のみんなはタンスに眠っている古着を出して、お百姓やら町娘、酔っ払い、わんぱく坊主……と自分にあつた昔の人になりきり観光客のみなさんには関所に貸衣装を用意し、身なりを整えてもらう。そんな人たちであふれる町並みを想像すると、楽しくなりました。

町並み保存の賛否を語っているころは、観光客が増えると、ゴミを散らかし汚い町になるのではないかと心配されていましたが、熊川宿へ来られる方々は、みんなマナーが良く、いつ見ても中ノ町は整然としています。いつもきれいだと汚しにくいもので、中ノ町の方々の、日頃の意識が観光客の皆さんにも伝わっていると感じました。

今年のいっぶく時代村で披露された、きれいな見送りで飾った山車に、楽しそうに乗る囃子の子供たちの巡行は、熊川の新しい歴史のページとなりました。

本当に楽しい企画をいっぱい作って下さった皆様、ありがとうございました。

熊川宿に想う

藤本美千代

「熊川宿」今では耳慣れた言葉であるが、私が嫁いだ頃（？十年前）はどこにでもある片隅でひっそりと息づいている田舎街であった。熊川が宿場町であったことすら知らなかったのである。

夕方になるとあ

ちこちで井戸端会議が開かれ、隣近所のことは一から十までわかってしまうような（？）土地柄であったように記憶している。懐かしい風景である。その頃は、ゆったりと時間が流れ、今よりもっとのどかであったように感じる。

時代の流れと言っ

てしまえばそれまでであるが、皆が忙しく働き、時のたつのがとても早く感じられる。

数年前に、重要伝統的建造物群保存地区に選定され、ここ数年の熊川の変貌には目を見張るものがある。中ノ町の道



路が整備され、電柱もとり除かれ、空がとても広く感じられる。今後上ノ町、下ノ町も整備されるということである。

日本全国あちこちから訪れる人も日に日に増えるばかりである。カメラをのぞく人、キャンパスに向かう人。皆とつてもいい顔である。もちろん街を散策する人も。

「熊川宿には何を求められているのだろうか」とふと思うことがある。雄大な自然、ゆったりとした時間、のどかな景色、等々。今、求められているものって俗に言う「癒しの里」なのだろうか？

「陣屋跡はどこですか？」数年前に尋ねられたことばである。どこなのか、そんな所あったの？、初めてきくで！」本心である。近

所で尋ねてようやくわかった。現在の「松寿苑」の場所である。

毎日暮らしていて知らないことがいっぱいある熊川宿。もっともつと地元のことから学び、「熊川のことなら何でもまかせて」といえる人であふれるように

御願 街道保存 くお便りより

静岡市 安本幸夫

東海道中有名なとろろ汁の「丁字屋」の看板のある小料理店で立ち話、全国で百軒ほど「丁字

前略 五月二十六日(日)午前十二時ごろ突然貴家に立ち寄りおいしい水を戴き、温かい会話の中で、我々の道中の疲れを癒して下さいまして本当にありがとうございます。

公民館へおつとめのご主人様にも帰る際お会いでき、楽しい熊川宿ウォークでした。

「街道両側の素晴らしい水の流れと静かな宿場の家並みはずっとそのままそっとしておいてもいいよ」と我々静岡(旧)期街道歩こう会のメンバーは異口同音でした。

道の駅で昼食後、健脚組は坂まで、足つり組はバスで近江今津まで先回り、琵琶湖就航資料館あたりを散策。途中静岡旧

屋」の名の店があり、毎年一回「丁字屋会」を開催、会長はなんと静岡のとろろ汁の芝山様との事。

我々は六十代の思い出に京都日本橋(旧東海道)を歩き、県内の街道は殆ど歩き、昨年正月は前年秋からかけて伊勢街道を完歩、初詣。

熊野古道か鯖街道か…春の京都の打上げを楽しみに歩きはじめました。ちなみに私達は六十八才又年です。静岡へどうぞ！



なれば…。(願望である)

そして、わが熊川宿を訪れる方々に「もう一度行きたいな」と思っていただけのようなそんな町並みに育ってほしい。(ちなみに私は、美山町のかやぶきの里へ行き

たいと思っている。閑静な中に整然と建ち並ぶかやぶき屋根はとっても素敵だった。)

せっかく歴史のある熊川に嫁いで来たんだもん、地元を誇れる素敵な熊川人になりたい！

山車復元工事のようす

調査から二年をかけて立派な山車が完成しました。



熊川の山車巡行とおひろめ

完成したばかりの「熊川の山車」の曳き初めとおひろめが行われました。



見送り幕おひろめ

豪華絢爛！復元された「見送り幕」も展示、おひろめされました。



送りと山車が復元されたのです。
みんなで大切に守り
継いで行きたいものです。

白石神社の山車が、実に四十年ぶりに復活しました。
かつては、上、中、下ノ町それぞれに存在した山車でしたが、時代の流れの中で、形としての山車は消えてしまいました。

白石神社例祭の栄華を再び…
「熊川の山車」が完成！

しかしながら、県指定文化財となった立派な見送り幕が三枚とも残され、そして何よりも、子どもたちのお囃子は連綿と伝承されてまいりました。そしてこのことがあって、晴れて文化庁の「ふるさと文化再興事業」により、県と町の教育委員会のご協力により、見事に見送り幕と山車が復元されたのです。

懐顔あれこれ

熊川いっぶく時代村 スナップ集



まつのきちようまつ 松木長操先生

三百五十年祭記念事業

と き…平成十四年十月十三日(日)
ところ…日笠正明寺(法要)

松木神社(神事・講演会)

今を去る二百五十年前、松木長操先生は、若年二十八歳の若さで、一命を捧げて若狭の農民を救わんとされました。

節目の年に当たり、菩提寺の日笠正明寺での法要、松木神社での例祭神事、そして改修なった義民館での講演会が行われました。

講師は、法政大学現代福祉学部教授 岡崎昌之先生。演題は、「松木長操先生のご精神を仰いで、今、農を問う」という、すばらしいお話でした。



松木神社について

熊川の中ノ町の南側には松木神社があります。これは、若狭の義民松木庄左衛門が祀られている神社です。この神社は、昭和八年に建てられたもので、境内には昭和十年に庄左衛門の遺徳を顕彰するために建てられた義民館があります。石柱の「松木神社」の文字は、頭山藩の書であります。また、不思議な因縁であります。ここ松木神社境内は、元小浜藩の米蔵のあったところ。蔵十二棟を建て年貢米三万俵を収納していたということです。



まつのましろうがえもん 松木庄左衛門って？

関ヶ原の戦いのあと、若狭の領主となった京極高次は小浜湾に臨む雲浜の地に壮大な城を築いた。そのため領内の百姓には年貢の増徴とか労役の提供など多くの負担がかけられたが、特にそれまで一俵四斗であった大豆年貢が四斗五升(または五斗)入りに増額された。そしてこの制度は領主が酒井忠勝になり、天守閣も造られて新しい小浜城が完成しても改められなかった。

苦しみにあえく百姓たちは年貢引き下げの嘆願運動を



十数年にわたって繰り返したが、小浜藩では全くこれを聞き入れなかった。捕縛投獄の抑圧にも屈せずあくまで年貢軽減を訴え続けた上中町新道村庄屋松木庄左衛門は、慶安五年(一六五二年)五月十六日ついに日笠川原で磔の刑に処せられた。

しかし、悲願は聞き届けられ大豆年貢の引き下げは実現した。時に庄左衛門は、二十八歳の若さであった。(松木神社説明板より)

権現神社修繕完了

水雨火防の神様を祀る権現さんの屋根葺き替えと、鳥居が新しくなりました。

また、周辺の杉木立が、所有者のご厚意により、屋根を傷めないようにと切られました。



権現さんのいわれ

昔、上ノ町では、道の表面に白い石が出ると村に火災や水害がおきたことがありました。

そこで、村人が相談をしてお社を建てて、この白い石をお祀りすることになったのが、この神社のいわれであるとされています。



5/3

白石神社例祭



恒例の白石神社の例祭が行われました。

トラックの荷台でのお囃子はこれが最後となります。念願だった「熊川の山車」が完成したことにより、来年からはいよいよ曳き山車巡行が行われます。

5/23

まちづくり合同学習会



文化庁の島田敏男先生をお迎えして、「みんなで話し合い、協力していくことで、きれいな町並みが出来る。熊川らしさを残し、楽しい仲間づくりや活動を続けてほしい」とアドバイス頂きました。

8/15

熊川宿納涼盆踊り



恒例の熊川宿納涼盆踊りが行われ、流行踊り、つつせん踊り、熊川音頭と続き、踊りの輪が幾重にも広がりました。

また金魚すくいや抽選会では、子どもたちが元気な歓声をあげていました。

8/31

三千院、川島織物見学と一乗寺でつつせん踊り

このほど完成した見送り幕の制作元・京都の川島織物へ見学に行きました。

出来上がったばかりの見送り幕を間近に見て、繊細かつ豪華な出来栄に感動しました。

夜は一乗寺でつつせん踊りで交流を深めました。



9/14

若狭路博2003プレイベント



若狭路博2003のプレイベントに、熊川いっぶく時代村の籠屋が参加しました。

当日は放生会祭りの初日ということもあり、各市町村から工夫を凝らした宣伝隊に、多くの観客の注目を浴びていました。

第8回 若狭路街道熊川宿
まちづくりフォーラム

と き：11月30日(日) 午前10時～
と ころ：松本神社義民館

まちづくりの喜びを語り、まちづくりの具体的な課題を思いながら、より創造的な「まちづくり」を共に考えませんか。

第1部：家直し語り「修理への思い」

話し手 井上 守さん

澤田一夫さん

聞き手 福井洋さん

第2部：まちづくり語り「まちづくり活動」

話し手 高橋こよさん

平尾希典さん

聞き手 尾中徳夫さん

第3部：総括講演

演題「循環型社会のまちづくり・まちづくり・ひとづくり」
講師 鈴木 有さん

あとがき

念願の「熊川の山車」と「見送り幕」が完成し、今年も「熊川いっぶく時代村」に、たくさんの方々のお越しを頂き、盛大に行われました。

これからも、みんなで楽しめる、より一層賑やかなお祭りやイベントになるよう願っています。

今号は、ご寄稿やお便り、松木長操先生三百五十年祭記念事業と共に、増ページでお届けします。

皆様のご協力により、番所の復元工事、下ノ町整備事業や上ノ町電柱移設も着々と進んでいます。

こんな素晴らしい「熊川宿」を多くの方々に知って頂けるよう、更なる輪を広げていきたいものです。

熊川宿の写真やお便りをお寄せください。お待ちしております。

編集委員

鯖街道熊川宿で2日間のタイムスリップ
熊川いっぷく時代村

とき：平成14年 9月28日(土)~29日(日)
 ところ：福井県上中町熊川宿一帯・道の駅「若狭熊川宿」
 主催：上中町・熊川いっぷく時代村実行委員会
 総合司会：曾我通家 福輔



めでたや餅つき&太鼓
 座やかな口上と軽快な手さばきで、威勢よくついたお餅をいただきました。



恩地美佳 民謡ライブ
 越中おむら返の音で幕開けした民謡ライブ。美佳ちゃんの歌声や三味線の音が秋の熊川宿に響きわたりました。



てっせん踊り・熊川音頭
 一乗寺のメンバーを交えて、てっせんや熊川音頭でしばし時を忘れて踊りました。



籠屋でござる in 熊川宿
 定番となった籠屋の珍し〜、沿道からは笑いや声援が！松神亮チームが見事V2を果たしました。



若狭鯖街道の観光物産展
 道の駅ではテントが並び、大勢の人が特産品やお土産を買い求めていました。



わっしょい!!

ちょうちん御輿練り歩きと子どもちょうちん行列
 「わっしょい!!」の元気なかけ声とともに三基のちょうちん御輿が街道を練り歩きました。



猿回し 大人気！今年も辺りは黒山の人だかり。巧みな話術とお猿さんの形姿を堪能しました。でも3回公演はお猿さんにとってはちょっときつかったかな？



野木紅太鼓・瓜生大神楽
 紅太鼓や大神楽、人力車などが一層祭りの雰囲気盛り上げていました。



熊川いっぷく大道芸
 全国各地から昔懐かしい職人さんたちが集結。特に「あめ組工」は人気がありました。